



NRGence クイックスタートガイド

リモートターミナル操作方法

2016 年 1 月 14 日

はじめに

ATEN NRGence シリーズの eco PDU には、リモート側のコンピューターから Telnet を使ってログインすることができます。Telnet は、ネットワーク経由で機器に接続し、テキストベースの通信で管理や制御を行うための通信プロトコルです。eco PDU の Web 版 GUI で提供されている機能の一部は、Telnet からでもご利用いただけます。eco PDU の Web 版 GUI の機能については、弊社 Web サイト (<http://www.aten.com/jp/ja/>) からユーザーマニュアルをダウンロードして、ご確認ください。このマニュアルには、本クイックスタートガイドで説明する eco PDU の操作コマンドで実現できる機能について詳しく記載されています。

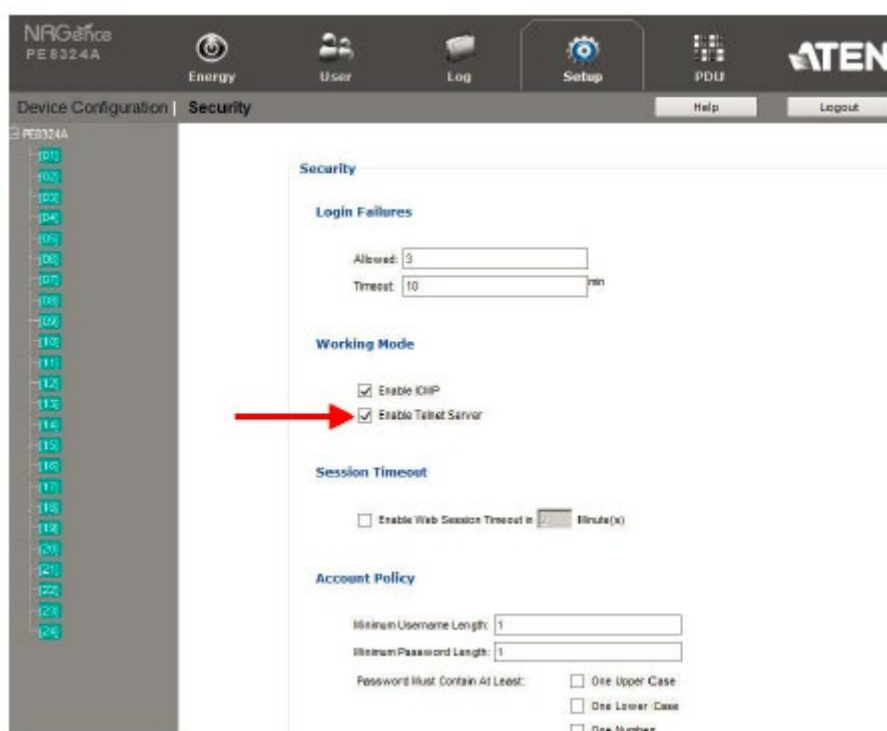
この Telnet 機能は、NRGence PE4/5/6/7/8/9 の全シリーズの eco PDU でご利用いただけます。お使いの eco PDU で Telnet による操作ができない場合は、弊社 Web サイトより最新のファームウェアをダウンロードして適用してください。

Telnet

最新ファームウェアが適用された eco PDU であれば、どの機種でも Telnet がお使いいただけます。eco PDU には、同じネットワークに接続された任意のコンピュータから Telnet でログインすることができます。

セットアップ

まず、eco PDU の Web 版 GUI にログインし、「**Setup**」(セットアップ)タブをクリックした後、メニューバーから「**Security**」(セキュリティ)メニューをクリックしてください。そうしたら、「**Working Mode**」(動作モード)のセクションにある「**Enable Telnet Server**」(Telnet サーバーを有効にする)の項目にチェックを入れて、画面下部にある「**Save**」(保存)をクリックしてください。

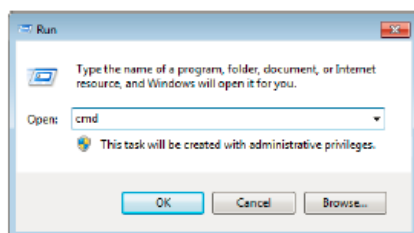


注意: PE シリーズの初期バージョンをお使いの場合、Telnet 機能は搭載されていません。「Enable Telnet Server」(Telnet サーバーを有効にする)の項目が利用できない場合は、弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)から最新のファームウェアをダウンロードして適用してください。

ログイン

eco PDU に Telnet 経由でログインするには、下記の手順で操作してください。

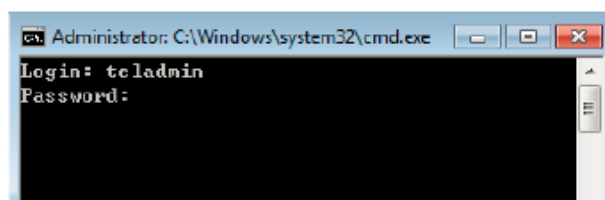
1. お使いのコンピュータで、スタートメニューから[スタート] → [実行]を選択してください。
2. ダイアログボックスに表示されているボックスに「cmd」と入力したら、「OK」をクリックしてください。



3. コマンドプロンプトに、次の形式で PDU の IP アドレスを指定して telnet コマンドを入力してください。

telnet IP アドレス

4. [Enter]キーを押してください。そうすると、下図のようなログイン画面が表示されます。

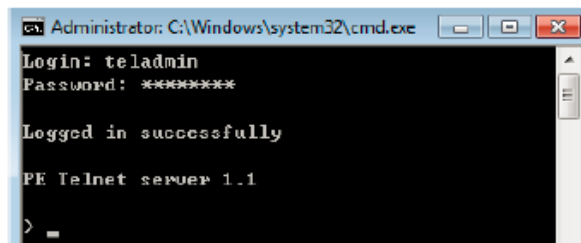


5. ログインプロンプトで、デフォルトユーザーのユーザーネーム「teladmin」およびパスワード「telpwd」を入力してください。

注意: Telnet のユーザーネームとパスワードは、eco PDU の Web 版 GUI における「User」(ユーザー)タブで設定することができます。

Windows のバージョンによっては初期設定では Telnet 通信機能を無効にされています。その場合は、「設定>アプリ>プログラムと機能>Windows の機能の有効化または無効化>telnet クライアント」から追加してください。

6. Telnet のセッションが確立すると、ダイアログに「Logged in successfully」(ログイン成功)のメッセージが表示され、コマンドプロンプトからコマンドが入力できるようになります。



Telnet コマンド

テキストベースのコマンドラインからは、eco PDU の Web 版 GUI における「Energy」(エネルギー) タブで提供されている一部の機能をコマンド入力で実現することができます。eco PDU の参照や設定に必要なコマンドについては、この後のセクションで説明します。コマンドを使用する際には Web 版 GUI のユーザーマニュアルに記載されている情報を参考にしてください。

セッションを終了する際には、「X」をクリックしてターミナル(コマンドライン)ウィンドウを閉じるか、「Close Telnet Session」(Telnet セッション終了)コマンドを使用してください(p.14 参照)。60 秒間操作されないと、Telnet セッションは自動的に切断されます。

eco PDU の参照や設定を行うには、各セクションで説明されている Telnet のテキストコマンドを使用します。利用可能なコマンドは、お使いになっている eco PDU の機能に応じて変わります。eco PDU の機能については、弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)からユーザーマニュアルをダウンロードして、ご確認ください。

入力確認

正しくないコマンドが送信されると、コマンドラインの最後に下記のような確認メッセージが表示されます。

- ◆ **Invalid command or exceed max command length** - コマンドの構文または値が間違っています。正しい構文や値で、コマンド文字列を再入力してください。

アウトレット状態の読み出し

このコマンドを使うと、eco PDU のアウトレットにおける電力の状態を参照することができます。

アウトレット状態の読み出しコマンドの構文は、下記のとおりです。

コマンド+アウトレット+番号+戻り値 [Enter]

1. 例えば、アウトレット 01 の状態を読み出して、単純な文字列で返したい場合は、下記を入力します。

`read status o01 simple [Enter]`

2. 例えば、アウトレット 12 の状態を読み出して、形式的な文字列で返したい場合は、下記を入力します。

`read status o12 format [Enter]`

アウトレット状態の読み出しコマンドで使える値は下表のとおりです。

コマンド	説明
read status	状態読み出しコマンド

アウトレット	説明
o	アウトレットコマンド
xx	PDU のアウトレット番号 xx : PDU におけるアウトレット番号 (例) o02

戻り値	説明
simple	単純な文字列で状態を返します。
format	形式的な文字列で状態を返します。

利用可能なアウトレット状態の読み出しコマンドリストは下表のとおりです。

コマンド	アウトレット	戻り値	Enter	説明
read status	o.xx	simple	[Enter]	アウトレット xx の状態を読み出し、単純な文字列で返します (xx: アウトレット番号)。
read status	o.xx	format	[Enter]	アウトレット xx の状態を読み出し、形式的な文字列で返します (xx: アウトレット番号)。

-
- 注意:**
1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
 2. **戻り値**のコマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトである「**format**」が使用されます。
-

アウトレット状態の切替

このコマンドを使うと、eco PDU のアウトレットにおける電力の状態を変更することができます。

アウトレット状態の切替コマンドの構文は、下記のとおりです。

コマンド+アウトレット+番号+操作+オプション [Enter]

1. 例えば、アウトレット 04 の電源を即座に OFF に切り替える場合は、下記を入力します。

sw o04 off imme [Enter]

2. 例えば、アウトレット 12 に設定された遅延時間の間待機してから、このアウトレットの電源を ON に切り替える場合は、下記を入力します。

sw o12 on delay [Enter]

3. 例えば、アウトレット 08 を再起動する場合は、下記を入力します。

sw o08 reboot [Enter]

アウトレット状態の切替コマンドで利用できる値は下表のとおりです。

コマンド	説明
sw	アウトレット状態の切替コマンド

アウトレット	説明
o	アウトレットコマンド
xx	PDU のアウトレット番号 xx : PDU におけるアウトレット番号 (例) o02

操作	説明
on	アウトレットの電源を ON に切り替えます。
off	アウトレットの電源を OFF に切り替えます。
reboot	アウトレットの電源を OFF に切り替えてから、ON に切り替えます。

オプション	説明
imme	アウトレットの状態を即座に切り替えます。
delay	アウトレットに設定された遅延時間の間待機してから、状態を切り替えます。

利用可能なアウトレット状態の切替コマンドリストは下表のとおりです。

コマンド	アウトレット	操作	オプション	Enter	説明
SW	O $_{XX}$	on	imme delay	[Enter]	指定されたオプションで、アウトレット $_{XX}$ の電源を ON に切り替えます ($_{XX}$: アウトレット番号)。
SW	O $_{XX}$	off	imme delay	[Enter]	指定されたオプションで、アウトレット $_{XX}$ の電源を OFF に切り替えます ($_{XX}$: アウトレット番号)。
SW	O $_{XX}$	reboot		[Enter]	アウトレット $_{XX}$ を再起動します ($_{XX}$: アウトレット番号)。

- 注意:**
1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
 2. オプションのコマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトである「delay」が使用されます。

電力測定値の読み出し

このコマンドを使うと、eco PDU 全体、バンク、またはアウトレットにおける電力測定値を参照することができます。

電力測定値の読み出しコマンドの構文は、下記のとおりです。

コマンド+対象+番号+測定値+戻り値 [Enter]

1. 例えば、アウトレット 12 における電圧の測定値を読み出して、単純な文字列で返したい場合は、下記を入力します。

```
read meter olt o12 volt simple [Enter]
```

2. 例えば、バンク 02 における消費電力の測定値を読み出して、形式的な文字列で返したい場合は、下記を入力します。

```
read meter bnk o02 pd format [Enter]
```

3. 例えば、PDU 全体における電圧周波数の測定値を読み出して、単純な文字列で返したい場合は、下記を入力します。

```
read meter dev freq simple [Enter]
```

電力測定値の読み出しコマンドで利用できる値は下表のとおりです。

コマンド	説明
read meter	電力測定値読み出しコマンド

対象	説明
dev	PDU から値を取得します。
bnk	バンクから値を取得します。
olt	アウトレットから値を取得します。

番号	説明
o	対象番号コマンド
xx	バンクまたはアウトレット番号 xx : PDU におけるバンクまたはアウトレット番号 (例) o02

測定値	説明
curr	電流の測定値を読み出します。
volt	電圧の測定値を読み出します。
pow	電力の測定値を読み出します。
pd	消費電力の測定値を読み出します。
pf	力率の測定値を読み出します。
freq	電圧周波数の測定値を読み出します。

戻り値	説明
simple	単純な文字列で測定値を返します。
format	形式的な文字列で測定値を返します。

電力測定値の読み出しコマンドリストは下表のとおりです。

コマンド	対象	番号	測定値	戻り値	Enter	説明
read meter	dev		curr volt pow pd pf freq	simple format	[Enter]	PDU における指定された測定値を、指定された文字列の形式で返します。
read meter	bnk	o xx	curr volt pow pd pf freq	simple format	[Enter]	バンク xx における指定された測定値を、指定された文字列の形式で返します (xx : バンク番号)。
read meter	olt	o xx	curr volt pow pd pf freq	simple format	[Enter]	アウトレット xx における指定された測定値を、指定された文字列の形式で返します (xx : アウトレット番号)。

-
- 注意:
1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
 2. 戻り値のコマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトである「`format`」が使用されます。
-

環境値の読み出し

このコマンドを使うと、eco PDU の環境センサーで測定した値を参照することができます。

環境値の読み出しコマンドの構文は、下記のとおりです。

コマンド+センサー+番号+戻り値 [Enter]

1. 例えば、環境センサー02 で測定した値を読み出して、単純な文字列で返したい場合は、下記を入力します。

`read sensor o02 simple [Enter]`

2. 例えば、環境センサー01 で測定した値を読み出して、形式的な文字列で返したい場合は、下記を入力します。

`read sensor o01 format [Enter]`

環境値の読み出しコマンドで使える値は下表のとおりです。

コマンド	説明
read sensor	環境値の読み出しコマンド

センサー	説明
o	環境センサーコマンド
xx	センサー番号 xx : PDU における環境センサー番号 (01～04) (例) o02

戻り値	説明
simple	単純な文字列で測定値を返します。
format	形式的な文字列で測定値を返します。

利用可能な環境値の読み出しコマンドリストは下表のとおりです。

コマンド	センサー	戻り値	Enter	説明
read sensor	o $_{xx}$	simple format	[Enter]	環境センサー $_{xx}$ で測定した値を読み出し、指定されたオプションの文字列の形式で返します($_{xx}$: センサー番号)。

-
- 注意:
1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
 2. 戻り値のコマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトである「format」が使用されます。
-

Telnet セッションの終了

このコマンドを使うと、eco PDU との Telnet セッションを終了することができます。

Telnet セッションの終了コマンドの構文は、下記のとおりです。

コマンド [Enter]

- 例えば、Telnet セッションを終了したい場合は、下記を入力します。

quit [Enter]

Telnet セッションの終了コマンドで利用できる値は下表のとおりです。

コマンド	説明
quit	Telnet セッションの終了コマンド

Telnet セッションの終了コマンドリストは下表のとおりです。

コマンド	Enter	説明
quit	[Enter]	eco PDU との Telnet セッションを終了します。